



はなのき

神坂小学校だより No.4 2022.06.22



勇気を自信に

校長 高橋 浩之

5年生が予定通り宿泊研修を行いました。スタートは霧雨の中でのオリエンテーリングでしたが、その後天候も良くなり、深緑を眺めながらのボート体験。夜は、星が降り注ぐような夜空の下でキャンプファイヤーを行い、一人一人5年生としての決意を語ってくれました。7人の強い思いが山々に響き渡り、神坂小を引っ張っていく高学年としての自覚が感じられました。



また、最近では、田起こしから代掻き、田植えまで地域の方々に教わりながら活動しています。

さらに、昨年度は取り組めなかった高学年の救命救急講座も実施しました。

低学年もサツマイモの苗を園児と一緒に植えました。他にも、例年行っている2年生の陶芸教室も実施し、家の人と一緒に発想豊かな様々な恐竜を作り、土の感触を楽しみながら活動できました。コロナ禍のため感染防止対策は継続して行っていますが、中止していた活動も形を変えながら実施しています。

恒例となっている小学校と中学校が力を合わせたプール掃除では、自分たちが使うプールを自分たちの手できれいにしました。毎年引き継がれ、高学年になると行われるプール掃除。自覚と責任が自信となって行動に表れていきます。



私は、この思いの進化を目の当たりにして、松坂投手が発した言葉『自信が確信に変わりました』を思い出しました。1999年。当時18歳だった松坂大輔投手は、イチロー選手を3打席3三振に抑えました。松坂投手は、幼い頃から練習を重ね、甲子園という大舞台で実力を発揮し、プロ野球選手になりました。そういった積み重ねた努力が自信となり、様々な場で力を発揮していくことが確信へと変わるのだと思います。神坂小の子ども達も、様々な活動が始まり、初めての経験でためらいがちになりそうな時に、仲間の支えを感じ、勇気をもって取り組んだことが自信となり、その積み重ねが確信へと変わっていき、たくましく育っていけるよう、子ども達を支援していきます。

感染状況を鑑みて、感染対策が変化しています。ただ、感染しないわけではないので、今後も感染対策を行いながら教育活動を行ってまいります。また、6月に入り熱中症も心配されます。重ねてご協力お願いします。